第2回 令和7年度 二国間クレジット制度（JCM）の更なる促進に向けたセミナー（全2回）

経済産業省は、2026年1月14日（水）に「令和７年度　二国間クレジット制度（JCM）の更なる促進に向けたセミナー」を開催します。本セミナーは、令和7年度に全２回の開催を予定しており、今回は第２回目の開催となります。

背景

我が国は、途上国への温室効果ガス削減技術、製品、システム、サービス、インフラ等の普及や対策実施を通じ、実現した温室効果ガス排出削減・吸収への日本国の貢献を定量的に評価するとともに、日本国の削減目標の達成に活用するためJCMを構築・実施しています。地球温暖化対策計画（令和7年2月18日閣議決定）において「グローバルサウス諸国等への脱炭素技術、製品、システム、サービス、インフラ等の普及や対策実施を通じ、実現した温室効果ガス排出削減・吸収への我が国の貢献を定量的に評価するとともに、我が国のNDCの達成に活用するため、JCMを構築・実施していく。このような取組を通じ、官民連携で2030年度までの累積で、１億t-CO_2程度、2040年度までの累積で、２億t-CO_2程度の国際的な排出削減・吸収量の確保を目標とする。」等、政府全体としてJCMを推進しており、2025年11月末時点で31か国とJCMを構築しています。

本セミナーの目的

本セミナーの目的は次の通りです。

- これまで以上に多くの事業者に対してJCMに対する理解を促進し、JCMの概要、最新動向、各国の動き等を周知することで関心を高め、JCM事業化を検討いただく機会を提供する。
- JCM適用基準や新PIN（事業概要書）様式など、JCMの制度プロセスにおいて新たに策定された文書について紹介した上で、2026年度から開始する排出量取引制度、JCMクレジットを取り巻く国際動向、民間資金を中心とするJCMプロジェクト（民間JCM）で事業者が直面しうるリスクと契約書上で検討すべき事項について解説し、民間JCMの組成を促進する。

本セミナーの対象者

本セミナーで想定する対象者は次の通りです。

- JCMに関心があるが、制度の具体的な内容は把握しておらず、検討のきっかけをつかみたい事業者
- JCMを活用して海外（主に開発途上国）での脱・低炭素化技術の展開に関心がある事業者
- 特に民間JCMプロジェクトに関心があり、手続やプロジェクト組成に当たっての留意点を把握したい事業者

セミナー終了後にネットワーキングの時間を設けており、民間JCMや政府の支援メニュー等についてご相談もお受けします。

概要

- 日時：2026年1月14日（水）13:30-16:15（13:10開場）
- 場所：日比谷国際ビルコンファレンススクエア　８Ｄ <https://hibikoku.tokyo/access/>
- 形式：会場70名、オンライン（Zoom）最大500名のハイブリッド形式
- 主催：経済産業省
- 事務局：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
- 申込み：https://murc-jp.zoom.us/webinar/register/WN_FefEO0oPRiKECSMzROymoQ

*会場申込が先着70名に達した後はオンラインでの参加をお願いさせていただきます。

JCM THE JOINT CREDITING MECHANISM

経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry

アジェンダ　※アジェンダ及び発表者は変更の可能性がありますので、予めご了承ください。

時間	内容	発表者
13:30-13:40 （10分）	開会挨拶	経済産業省 GXグループ 地球環境対策室 地球環境問題交渉官 木村 範尋
セッション 1 JCMの概要と最新動向、各国動向解説		
13:40-13:55 （15分）	JCMの概要 ・JCMの概要と政府支援メニューの解説 （JCMFS、NEDO実証、GS補助金、その他政府支援） ・新規パートナー国交渉の状況等	経済産業省 GXグループ 地球環境対策室 係員 住友 陽次郎
13:55-14:05 （10分）	JCMの最新動向 ・JC開催状況（フィリピンJC、タイJC） ・タイから初のITMOs発行/民間JCMでITMOs発行を目指す上での留意点	JCMA 制度運営グループ グループ長 川村 美穂子
14:05-14:10 （5分）	各国の最新動向	三菱UFJリサーチ＆コンサルティング 地球環境部 上席主任研究員 山口 和子
14:10-14:15 （５分）	質疑応答	
セッション２ JCM制度プロセスに関する最近の動き		
14:15-14:25 （10分）	JCM制度プロセス① ・JCM適用基準について	経済産業省 GXグループ 地球環境対策室 室長補佐 三井 博行
14:25-14:35 （10分）	JCM制度プロセス② ・新PIN様式の案内	JCMA プロジェクト推進グループ 企画官 藤本 稔
14:35-14:40 （5分）	JCM制度プロセス③ ・JCMウェブサイト紹介	経済産業省 GXグループ 地球環境対策室 係長 市川 敏樹
14:40-14:45 （5分）	質疑応答	
14:45-14:55 （10分）	休憩	
セッション３　民間JCM活用促進に向けて		
14:55-15:10 （15分）	2026年度より開始する排出量取引制度について	経済産業省 GXグループ 環境経済室 室長補佐 中山 竜太郎
15:10-15:30 （20分）	JCMクレジットの需要と新興国の関心	三井物産戦略研究所 国際情報部 シニア研究フェロー 本郷 尚
15:30-15:50 （20分）	民間JCM事業者が直面しうるリスクと契約書上で検討すべき事項	森・濱田松本法律事務所 パートナー・弁護士 武川 丈士
15:50-16:10 （20分）	パネルディスカッション＆質疑応答	（パネリスト） 〇三井物産戦略研究所 国際情報部 シニア研究フェロー 本郷 尚 〇森・濱田松本法律事務所 パートナー・弁護士 武川 丈士 〇経済産業省 GXグループ 地球環境対策室 地球環境問題交渉官 木村 範尋 （モデレータ） 〇経済産業省 GXグループ 地球環境対策室 係長 三浦 俊宏
閉会		
16:10-16:15 （5分）	閉会挨拶	経済産業省 GXグループ 地球環境対策室 地球環境問題交渉官 木村 範尋
ネットワーキング		
16:15-16:45 （30分）	民間JCM及び政府の支援メニュー等に関するご相談	